

# トークイベント「鎌倉の新しい拠点“ふみくら”を共に創る」アンケート結果

アンケート実施日：令和5年（2023年）8月27日（日）

アンケート回答数：46名

## 設問1：あなたの年齢（年代）を教えてください

①10代以下	②20代	③30代	④40代	⑤50代	⑥60代	⑦70代以上	計
1	3	4	11	17	7	3	46
2%	7%	9%	24%	37%	15%	7%	100%

## 設問2：あなたのお住まいの地域を教えてください

①鎌倉地域	②腰越地域	③深沢地域	④大船地域	⑤玉縄地域	⑥鎌倉市外	計
26	4	1	7	2	6	46
57%	9%	2%	15%	4%	13%	100%

## 設問3：市庁舎所在地（現在市役所がある場所）の将来の利活用が検討されているのはご存知でしたか？

①知っていた	②聞いたことはあった	③知らなかった	計
32	7	7	46
70%	15%	15%	100%

## 設問4：（設問3で①、②と回答された方へ伺います。）何を通じて知りましたか？【複数回答可】

①イベント(ONE DAY PLAYPARK、ワークショップなど)	②説明会など市から直接聞く機会	③市ホームページ	④市公式SNS等	⑤広報かまくら	⑥新聞・WEBニュース	⑦家族、知人、友人から	⑧その他	計
8	10	12	15	14	1	12	2	39
21%	26%	31%	38%	36%	3%	31%	5%	100%

## 設問5：本イベントでまちづくり・市庁舎所在地の利活用について考えるきっかけになりましたか？

①なった	②どちらともいえない	③なかった	未回答	計
39	5	0	2	46
85%	11%	0%	4%	100%

## 設問6：今後本イベントのようなイベントがあれば参加してみたいと思いますか？

①思う	②どちらともいえない	③思わない	未回答	計
37	7	0	2	46
80%	15%	0%	4%	100%

## 設問7：本イベントを踏まえ、図書館、生涯学習センター、市民活動（NPO）センター、行政サービス及び情報発信の機能に加え、市庁舎所在地にあつたらいいと思う機能は何ですか？【複数回答可】

①飲食・カフェ	②物販・マルシェ	③子育て・教育	④健康・医療	⑤ビジネス	⑥観光・宿泊	⑦歴史・文化・郷土	⑧アート、デザイン	⑨ICT	⑩その他	計
29	20	23	15	12	11	18	24	5	10	46
63%	43%	50%	33%	26%	24%	39%	52%	11%	22%	100%



⑩その他の内容	内容
	防災／防災もおねがいします／野外音楽堂／市民シアター／語り場／それらは体現する場、ホール・ギャラリー／地域につながるのい高齢者支援のできる場／まざったもの／むしろなんでもアリの場になればと思っています／「自由をもって行って下さい」コーナー（逗子市には「もったいない市」というものがあります）

## 設問8：市庁舎所在地の利活用については、今後も市民のみなさんと共に考え、共に創るプロセスを続けていきたいと考えています。具体的にどんな方法だと参加しやすいですか？【複数回答可】

①市民ワーキンググループ（定期開催）	②オンラインプラットフォーム（Liquid等）	③ワークショップ（随時開催）	④LINEアンケート	⑤説明会	⑥イベント	⑦その他	計
22	18	19	11	7	20	9	46
48%	39%	41%	24%	15%	43%	20%	100%



⑦その他の内容	内容
	地域協議会など市民が主体となった本格検討の場／市民と行政と専門家が共に考える機会／あらたまらない、かたくなしくない場であれば何でも良いです／市民から広く構想図を募集する／誰でもフリーに参加できる場／ONE DAY PLAY PARKのように体験型で機能を選別していけるといいです／大お茶会とか／カマコンの活用／色々なグループ、自治体によってほしい。←コミュニティーみたいな。

## 設問9：本イベントの感想等ありましたら自由にご記入ください。

- ・市役所移転をキッカケに自分はどんな鎌倉にしたいかを考える様になりました。住民説明会でないこういったイベントはまだまだ沢山やってほしいです。「ジブンゴト」になってきました！
- ・楽しく拝聴しました。こちらの主張で相手を説き伏せるのではなく、考えてもらう、考えをひき出すことが大事というお話に考えさせられました。建物から考えるのではなく、機能や運営からというのはその通りです。楽しくワクワクする場にしたいとは思いますが、それ以前に図書館として機能することが何より大切です。より良い街にしていきたいと思えます。ありがとうございます。
- ・とても興味深く、鎌倉のこれからを考える機会となりました。最後に「どのような場を設定すれば色々な人の意見が聞ける？」とあったが、市⇄市民の直アプローチだと、限定的な意見になると思う。各人が持ち合わせてる別コミュニティから間接的にアプローチするのも効果的だと思う。
- ・参加しやすく楽しかったです。私は今京都と鎌倉を行ったり来たりの暮らしですが、鎌倉は本当にステキな街です。海があって、ゆるい人との関係がステキだと思います。海をみながらコーヒーをのんでたおしゃべりをたのしむ、そんなコミュニティが出来たらと思います。フィーカにとっても興味あります。
- ・場をつくろう！場を始めよう！のタイトル通り、まずは参加する興味を持つ事が大切だと思いました。様々な人（個）がワクワクできる場所を目指すのは大変だとは思いますが、まずは多くの人が関心を持つこと、そして行政もそこへ誘って頂きたいです。今回の申込みの仕方（方法）ひとつ取っても老若男女、特に高齢者の方（人生経験豊かな）も気軽に参加できる方法、発信の仕方を考えて欲しいと思いました。多様な人たちのニーズに耳を傾けて下さい。制度に縛られない変化を恐れぬ決断力を求めます。
- ・良い場づくりは「主客一如」の精神だと思いました。ホストとゲストに分けて考えるのではなく、ホストも楽しみ、ゲストも作り手になれるような混ざり合った関係性が良いと思います。行政と市民の関係性が融解した状態を実現できたら素晴らしいと感じました。
- ・わくわくするためのコミュニケーションの重要性について理解することができました。私は大学生でまちづくりの勉強をしていますが、まちづくりの場だけではなく、まちづくりを「学ぶ」場でもコミュニケーションを大切に、わくわくする場にしたいです。
- ・ワクワクと不安は同居しているという感覚を自らも振り返って感じることができました。→遊べるよう”補助線”を引くことについて初めて認識しました。
- ・検討中の施設が将来にわたって育っていける、変化し続けられる施設であることが大切なのかと思いました。今日はありがとうございました。
- ・鎌倉FIKA2-AIに出ていて、たき火のコトや、補助線から世界を作るコトでみんなが気持ちを開いた、それに似ている。是非、色々な価値観を尊重して、自分が主人公、リーダーは誰もが！が実現する場合にしたい。街中で、「あ！会えた」のある街。
- ・鎌倉には2009年に移住してきました。誰ひとり知り合いのいない町でしたが、3.11の後あたりから多くの方が自発的なイベントをひらくようになり、そこでたくさん仲間ができました。新しくできる場も、町じゅうあちこちで開催されるイベントのように、気楽に顔を合わせて、同じ釜の飯を食べるお祭りのようなところになればいいな、していけたらなど、今日のお話をきいて思いました。ありがとうございました。
- ・「ふみくら」この言葉のルーツ・意味を充分に解釈して「ふみくら」に充分生かされた現庁舎利活用につくられたらと願います。カフェ（しかもスタバのような）だけの賑わいを求めないで。公的施設である図書館・公民館が大勢の人利用されることによる賑わいであってほしい。今回つくられたら数10年は利用されることになる。今、民間の場所を大きくとらないで、公の場所を充分検討してほしい
- ・「何を作るか」を規定しない（何かをしたくなる場所にしたらいいと思う）ちょっとした広場のある森にすればいいと常に思っています。施設ではなくて
- ・「わくわく」という言葉にとられない（安らぎ、独りになるなどあってもいい）
- ・「鎌倉ならではの」とられない（市民がやりたいと思ったことが集まれば結果的に鎌倉らしいものになるはず。)
- ・青森県から参加しました。仕事柄、行政と住民の中間支援やコーディネーターとして動いていて、次年度ウォークアブル事業やりノベ（まさに図書館、そこを中心に）まちづくりなど重なる部分も多く、参考になりました。カマコンのメンバーが青森ともつながりがあり、一緒に活動もしているので、今日来られてよかったです！
- ・属性の違う人と知りあうという価値、視点は面白いと思った。そこは共感できる。有事には防災のものに早がわりは面白いと思った。同じ人種で決めることのないようにして下さい
- ・田中元子さんの話はとても興味深かった。会場の参加者が知り合いが多い（身内っぼさ）が気になった。広く参加ができるイベントがあるとよい。市の主催で子供向けのイベントは人が集まっても、それ以外はなかなか興味をもたれないのでしょうか
- ・お話は面白く伺いました。多様な市民が住む現実を心がまえの意味では良いお話だったと思いますが、災害の可能性、さら使用の期限・市庁舎移転の時期etcを考えるともう少し具体的で計画性を持ったお話にも期待します。高齢者は待てません。
- ・街づくりってとっても楽しいなど。田中さんのお話を聞けてよかったです。
- ・今日心に残った言葉は“デコる”。公共施設も市民（使う人）がそれぞれの思いでデコることができたら楽しいと思いました。居場所づくりにも、自分がいて居心地が良いと思える空間が大切でふみくらもそうならいいと思いました。
- ・市職員の皆さま、日曜日のお仕事おつかれ様でした。お休みに参加されている職員さまもおつかれ様でした。勉強させていただけました。関係者のみなさまありがとうございました。「ここに居ない人」が気になる。物事をすすめるにあたって欠けてはならない心ですね。
- ・市民との対話の機会の創出について  
単発での対話の場よりも数ヶ月程度、例えば毎週金曜夜とかに市役所のP（駐車場）でもよいので、市民が自由に（音楽、飲食、イベント、談話、とくに規制しないルールをつくらない（行政からは））イベントできるようにしていけたら、その長期の間で「〇〇やってみたい」と自主的にうごくきっかけになると感じます。そしてそれを行政が「実体として観る」のが大事と思う。※市民のハレではなく「ケ」ですぐず場を提供してほしい。
- ・クーラーが効いていることもあり、途中トイレ休憩があるとありがたかったです。